

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 5 月 15 日

事業所名 タートル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		個別での対応もできるように職員数と同等の利用を心掛けている
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		個別での対応ができるだけの十分な職員配置を行っている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		スロープ、手すり等の設置をしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		朝のミーティング、職員会議等の実施
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		保護者の意向を把握できるようにし、職員会議等で改善策を考え、改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		ホームページでの公開を行っている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		第三者委員会の設置をしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		半年に一回の研修を実施し、外部の研修へも参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		少なくとも半年に一度の支援計画作成を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		週に一度のプログラムの見直しを行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		個別活動、集団活動の時間を設け、計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		朝礼時に打ち合わせ、役割分担の確認をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		送迎時の申し送り等の報告をし、その日の振り返りをしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		実績記録を徹底し、日々ミーティングの実施をしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		定期的にモニタリングの実施、見直しをし、判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	100%	0%		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%		送迎時等、適宜情報共有をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%		該当児の受け入れをしていないため。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	100%		今後、検討していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	100%		対象となる児童がいれば情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		連絡会の参加で研修、助言等を受け、連携に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		今後、検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		今後、検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	0%	100%		送迎時にその日の様子を伝えるなど、保護者と話す時間を少しでも多く取れるように心掛けている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%		ご家庭での様子を送迎時、電話等で伺いご家庭でできる助言を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		定期的に懇談をし、それに加え適宜相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		マニュアルを策定、苦情受付窓口の設置をし、迅速かつ適切に対応できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		行事予定、活動内容等は随時保護者の方にお伝えしている。今後はホームページにも掲載する予定。
	35	個人情報に十分注意している	0%	100%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		マニュアル等の策定、保護者の方へ周知をしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		月に一回、避難訓練をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	0%	100%		マニュアルの策定、周知、研修へ参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		組織的に決定はしているが、該当児の受け入れをしていないため。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		該当児の受け入れをしていないため。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		ヒヤリハット事例集を作成し、再発防止に努めている。また、施設内での注意事項等について職員間で共有している。